

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【女子2回戦】 D球場(伊予銀行グランド) 第4試合 川東中学校(愛媛県) VS 沼津第五中学校(静岡県)

川東中 投打がかみ合い6回コールド勝ち!!

沼津第五中 最後まで泥だらけの全力プレー!



<川東中 2回表、6番直野が2点目となる左前適時打を放つ>



<沼津第五中 最後まで味方の反撃を信じて投げる山崎>

平成26年8月19日(火) 15:02 ~ 16:25 球審:渡部 一塁:日野 二塁:濱崎 三塁:真鍋

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
川東中学校(愛媛県)	0	2	1	0	0	6				9
第五中学校(静岡県)	0	0	0	0	0	2				2

【バッテリー】 <先攻> (川) ○坪野 三咲 - 山田 柚葵

<後攻> (沼) ●山崎 ひかる - 中井 涼

【長 打】

<本塁打>

<三塁打> 瀧田 のぞみ(川)、山田 柚葵(川)、山崎 ひかる(沼)

<二塁打> 高橋 まひろ(川)、宇都宮 桃華(川)

【戦 評】

川東中は投打ががっちりかみ合い、6回コールド勝ちでベスト8に進出した。2回無死1、3塁から6番直野の左前適時打で先制した。3回は2番瀧田の3塁打と4番高橋の適時打で追加点を挙げた。6回は無死満塁から8番宇都宮の走者一掃の2塁打などで一挙6点を挙げ試合を決めた。

沼津第五中は9点を追う6回、3番山崎の3塁打などで意地の2点を返して追い上げたが、及ばず6回コールドゲームが成立した。4回の2死満塁のチャンスを生かせなかったのが痛かった。しかし、捕れないと思われる打球に対しても必死に飛びつき、また、凡打でも全力疾走し、泥だらけで全力プレーする姿は中学生の模範であった。

【勝者インタビュー】

監督談

みんなでつなぎ、打って点を取ることができた。6回表の集中打が試合の決め手となった。失点0を目指して試合に臨んだが、まだまだミスがあった。次の試合ではミスをなくして勝ちにつなげたい。

主将談

後半のダメ押しが大きかったです。一人一人がヒットでつなぐことができたのが、結果としてよかったです。ただ、守備のミスがあったので、そのミスをなくし、次の試合はノーエラー無失点で頑張りたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!